

[専門教育関連科目/健康と健康障害の理解]

科目名	ナンバリング	区分(必修・選択)	単位数	履修年次	開講学期等
疾病治療論Ⅱ	NSF22_004	必修	1	2	前期
担当教員	研究室	電子メール ID	オフィスアワー		
山本 泰宏 他	教員控室	kango	授業終了後に質問等受付		
授業の目的・概要	疾病治療論Ⅱでは、脳神経・感覚器・運動器・内分泌代謝疾患の症状・診断に必要な検査及び治療、予後について学ぶ。疾病治療論Ⅰで学んだ疾病治療論総論及び病理学・感染免疫学・栄養学・薬理学で学んだ知識などを活用し、症状や検査、治療が人体や生活に及ぼす影響について理解する。脳神経・感覚器・運動器・内分泌代謝疾患の臨床で経験の高い疾患を中心に、現在行われている診断・治療について理解する。オンラインによる同時双方向授業や課題学習等を通してこれらを理解し、フィードバック等によりさらに理解を深める。				
学習上の助言	人体機能構造学と病理学の知識を組み合わせる授業を行うので、教科書のみではなく人体機能構造学と病理学の教科書も準備しておいていただきたい。未知の疾患に遭遇したときの自己学習法を学ぶことを重視するので、知識のみではなく思考過程を学ぶこと。				
教科書	<ul style="list-style-type: none"> ・専門分野(2)成人看護学<6> 第15版 内分泌・代謝(系統看護学講座)/医学書院 ・専門分野(2)成人看護学<7> 第15版 脳・神経(系統看護学講座)/医学書院 ・専門分野(2)成人看護学<10> 第15版 運動器(系統看護学講座)/医学書院 ・専門分野(2)成人看護学<12> 第15版 皮膚(系統看護学講座)/医学書院 ・専門分野(2)成人看護学<13> 第14版 眼(系統看護学講座)/医学書院 ・専門分野(2)成人看護学<14> 第14版 耳鼻咽喉(系統看護学講座)/医学書院 <p>〔6冊指定〕</p>				
参考書	・ハリソン内科学 第5版/日本語版監修:福井次矢、黒田清/メディカル・サイエンス・インターナショナル/2017				
学生が達成すべき行動目標			関連卒業認定・学位授与方針		
①	未知の事象に遭遇したとき自己学習して問題を解決する能力を身につける		HSU(2)(4)(5)、NS(2)(5)		
②	重要な疾患について基本的な特徴を説明できる		HSU(1)(2)、NS(1)(2)		
授 業 計 画					
回	学習内容等	授業方法	学習課題・学習時間(時間)		
1	運動器系疾患(1) 症状・徴候・主要疾患の概略について学習する。 フィードバック:総括資料を配布 意見交換:定期試験付近で必要に応じ(担当:池上)	印刷教材等での授業	課題①:運動器疾患における原因・病態生理・症状・検査・診断・治療及び合併症をまとめる。		
2	運動器系疾患(2) 変形性関節症、関節リウマチなどについて学習する。 フィードバック:総括資料を配布 意見交換:定期試験付近で必要に応じ(担当:池上)	印刷教材等での授業	課題②:高齢化に伴って運動機能低下をきたす運動器疾患についてまとめる。		
3	運動器系疾患(3) 脊椎疾患などについて学習する。 フィードバック:総括資料を配布 意見交換:定期試験付近で必要に応じ(担当:池上)	印刷教材等での授業	課題①:「頸椎性脊髄症」と「腰部脊柱管狭窄症」の症状をまとめる。		
4	運動器系疾患(4) 骨折について学習する。 フィードバック:総括資料を配布 意見交換:定期試験付近で必要に応じ(担当:池上)	印刷教材等での授業	課題②:高齢者の大腿骨頸部骨折についての問題点をまとめる。		
5	運動器系疾患(5) 運動器系疾患のリハビリテーションについて学習する。 (担当:粕山)	同時双方向型授業	教科書の該当部分の予習、講義内容を復習する。		
6	脳・神経系疾患(1) 症状・徴候・主要疾患の概略について学習する。 フィードバック:総括資料を配布 意見交換:定期試験付近で必要に応じ(担当:保坂)	放送授業	脳と脊髄の基本的構造と機能を予習。中枢神経障害と末梢神経障害の鑑別方法、意識障害の評価方法を復習する。		
7	脳・神経系疾患(2) くも膜下出血、脳出血、脳梗塞などについて学習する。 フィードバック:総括資料を配布 意見交換:定期試験付近で必要に応じ(担当:保坂)	放送授業	くも膜下出血、脳出血、脳梗塞の特徴的症候を予習する。高次脳機能障害を復習する。		
8	脳・神経系疾患(3) 脳腫瘍、脊髄疾患などについて学習する。 フィードバック:総括資料を配布 意見交換:定期試験付近で必要に応じ(担当:保坂)	放送授業	教科書の該当部分の予習、脳腫瘍でみられる特徴的症候を復習する。		
9	脳・神経系疾患(4) パーキンソン病、ALS、多発性硬化症、ギランバレー症候群について学習する。 フィードバック:総括資料を配布 意見交換:定期試験付近で必要に応じ(担当:保坂)	放送授業	教科書の該当部分の予習、講義内容を復習する。		
10	脳・神経系疾患(5) 脳血管疾患のリハビリテーションについて学習する。 (担当:高村)	同時双方向型授業	教科書の該当部分の予習、講義内容を復習する。		
11	感覚器疾患 皮膚疾患、眼・耳鼻咽喉科疾患について学習する。 フィードバック:総括資料を配布 意見交換:定期試験付近で必要に応じ(担当:山本)	印刷教材等での授業	課題:感覚器系疾患における原因・病態生理・症状・検査・診断・治療及び各論(緑内障と難聴)を復習する。		
12	内分泌代謝疾患(1) 症状・徴候・主要疾患の概略について学習する。 フィードバック:総括資料を配布 意見交換:定期試験付近で必要に応じ(担当:岡本)	印刷教材等での授業	課題:内分泌・代謝疾患における原因・病態生理・症状・検査・診断・治療及び合併症の定義や身体的・心理的特徴をまとめる。		
13	内分泌代謝疾患(2) 糖尿病について学習する。 フィードバック:総括資料を配布 意見交換:定期試験付近で必要に応じ(担当:岡本)	印刷教材等での授業			

[専門教育関連科目/健康と健康障害の理解]

14	内分泌代謝疾患(3) 下垂体腫瘍、下垂体疾患について学習する。 フィードバック:総括資料を配布 意見交換:定期試験付近で必要に応じ(担当:岡本)	印刷教材等での授業	課題:内分泌・代謝疾患各論(パセドウ病・糖尿病等における定義・診断基準・症状・検査・診断・治療等)について整理する。				6
15	内分泌代謝疾患(4) 甲状腺疾患、副腎疾患、性腺疾患について学習する。 フィードバック:総括資料を配布 意見交換:定期試験付近で必要に応じ(担当:岡本)	印刷教材等での授業					
試	達成度評価・評価のポイントを参照						
達成度評価							
総合評価割合(%)		試験	レポート	成果発表	ポートフォリオ	その他	合計
		100	0	0	0	0	100
総合力指標	知識・技術力	50	0	0	0	0	50
	思考・推論・創造する力	25	0	0	0	0	25
	協調性・リーダーシップ	0	0	0	0	0	0
	発表・表現伝達する力	0	0	0	0	0	0
	コミュニケーション力	0	0	0	0	0	0
	取組みの姿勢・意欲	0	0	0	0	0	0
	問題を発見・解決する力	25	0	0	0	0	25
評価のポイント							
評価方法	行動目標	評価の実施方法及び注意点				フィードバックの方法	
試験	①	✓	定期試験は講義全体について実施する。				試験問題について講義の内容を踏まえて解説する。
	②	✓					
レポート	①						
	②						
成果発表	①						
	②						
ポートフォリオ	①						
	②						
その他	①						
	②						
備 考							
<p>当科目は複数の教員が単元ごとに授業を担当するオムニバス形式となっています。担当教員によって、Teamsを使った同時双方向型授業や課題ダウンロード、動画視聴など、授業方法が異なりますので注意してください。</p> <p>授業時は通信容量が無制限のWi-Fi環境を推奨します。通信容量制限がある場合は通信量に十分に注意してください。</p> <p>今後の新型コロナウイルス感染症の状況など社会情勢によって、シラバス内容が再度変更される場合があります。</p>							